



第67回 全国労働衛生週間がはじまります。

期間：10月1日(土)～10月7日(金)



<スローガン>健康職場 つくる まもるは みんなが主役

「全国労働衛生週間」は、労働者の健康管理や職場改善など、労働衛生に関する国民の意識を高め、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的に毎年実施しています。それぞれの職場での安全衛生パトロール、スローガン掲示、労働衛生に関する講習会・見学会の開催など、様々な取組を展開しましょう。

* 無料労働問題相談会開催 *

相談無料

秘密厳守

★事前予約制 (下記、電話またはメールにて)

※予約多数の場合は先着順となります。

解雇、退職、賃金未払、労働条件の引き下げ等の労使間のトラブルについて香川県労働委員会委員ら専門家による無料労働相談会を開催します。(高松市内2か所)

日時: 10月11日(火)～13日(木)

場所: 県労働委員会事務局会議室
(県庁東館3階)

申込期限: 前日の午前中

日時: 10月15日(土)～16日(日)

場所: 高松市生涯学習センター2階
視聴覚室ほか

申込期限: 10/14(金)午前中



【事前予約・お問い合わせ】 香川県労働委員会事務局

TEL : 087-832-3721 / 3722 E-mail : roui@pref.kagawa.lg.jp

子育てを支援している中小企業等大募集!

仕事と子育ての両立支援を図るための職場環境の整備に積極的に取り組んでいる中小企業を表彰します。安心して子どもを育てられる職場環境づくりを行っている中小企業等の事業主の皆様の応募をお待ちしております!

表彰企業は本市ホームページや「広報たかまつ」などで広く紹介する予定です。

募集締切日 10月17日(月) 郵送の場合は消印有効

応募用件、応募方法等、詳細は下記にてご確認ください。

<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/7775.html>

【お問い合わせ】

高松市 創造都市推進局産業経済部
産業振興課

TEL: 087-839-2411

いのちの贈り物・・・善意の提供で救える“いのち”があります！ まず、正しく知ることから！

骨髄提供

骨髄等移植は、白血病などの血液難病によって正常な造血が行われなくなったために、患者さんの造血幹細胞を提供者(ドナー)から提供された造血幹細胞に置き換える治療法です。

移植には、ドナーと患者さんの白血球型の一致が必要ですが、一致する確率は、親子でもまれで、他人では数百年から数万人に1人とも言われ、多くの方の骨髄バンクドナー登録が待たれています。

●骨髄等移植の種類

種類	骨髄提供	末梢血幹細胞提供
採取方法	全身麻酔下で、骨盤の一部の腸骨(腰の骨)から骨髄液を採取	採取前3～4日間、G-CSF(白血球を増やす薬)を注射後、末梢血に流れ出した造血幹細胞だけを採取
入院期間	3泊4日程度	4泊5日程度



●ドナー登録のできる方

骨髄提供の内容を十分理解している方で、年齢は18歳以上54歳以下、体重は男性45kg以上 女性40kg以上の方

高松市では、8月1日より骨髄等移植ドナー支援制度を開始しました！

日本骨髄バンクを通じて骨髄等を提供したドナー(通院4千円/日、入院2万円/日、上限10万円)と、ドナーが勤務する市内事業所(5万円)に助成します。※詳しくは、市ホームページ「もっと高松」で御確認ください。

臓器提供

臓器移植は、重い病気や事故により臓器の機能が低下し、移植でしか治療できない方に脳死または心停止後に臓器を提供してもいいという、善意により成り立っています。

心臓、肺、肝臓、膵臓、小腸及び眼球(角膜)の臓器を

『提供する』又は『提供しない』の意思表示にご協力ください。



- ・親族への優先提供の意思表示ができます。 ※優先提供には要件があります。
- ・15歳未満の方も脳死での臓器提供が可能となり、国内での小さな子どもへの臓器移植の可能性も広がりました。

臓器提供の意思表示方法

ホームページ <http://www.jotnw.or.jp> モバイルサイト <http://www.jotnw.or.jp/m>

運転免許証や健康保険証、臓器提供意思表示カードでも、意思表示ができます。

骨髄提供・臓器提供についてのお問い合わせは 高松市保健所保健対策課 総務系 TEL:087-839-2860

酒は百薬の長なれど 万の病は酒よりこそ起れ

出典：徒然草 第175段

11月10日～16日

アルコール啓発週間

アルコール健康障害対策推進基本法

- ① 未成年、妊婦はゼロに
- ② 飲むなら「節度ある適度な飲酒」
1日に20g(女性と高齢者、お酒の弱い人は半分)



アルコール20gとは・・・
ビール500ml、酎ハイ7%350ml、日本酒1合、ワイン200ml、焼酎25%100ml

- ③ 生活習慣病のリスクが高まる飲酒に注意
男性は1日40g以上 女性は1日20g以上
 - ④ 多量飲酒しない
(さまざまな社会問題を引き起こし、アルコール依存症にもつながる。1日60g超)
- *厚生労働省「健康日本21」にみる飲酒の指標



アルコール健康障害についてのお問い合わせ・御相談は 高松市保健センター 精神保健系 TEL:087-839-3801